

海外安全対策情報（平成26年度第1四半期）

1. 社会・治安情勢

当地社会情勢は、引き続き安定しているものと認められ、デモ等の集団示威行動などは確認されていない。

一方で、政府は、一般歳出の急増を受け、同レベルの支出を維持するのは非常に困難であると評価し、国民生活に直結するガソリン価格に対する政府補助金の削減等について言及している。そのような中、本年1月及び2月には政府職員にまつわる贈収賄事件や職権濫用事件等が明るみに出ており、これらを受けて政府に対する国民の不満が募り抗議行動などに発展するなど、治安情勢に影響を与える可能性も否定できず、注意を要する。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 概要

ア マスカットにおける本年第1四半期の窃盗事件数は782件で、昨年同期の1,172件に比べて減少。ただし、乗り物盗・侵入盗などは依然多く発生している。被害品の特徴としては、現金・貴金属・パソコン等の電化製品など容易に持ち出すことができ転売可能なものがあげられる。

警察では、夏季休暇中に空き巣など侵入盗が増加する傾向を受け、旅行等で自宅を留守にする場合、現金や貴重品は目に付きにくいところに保管すること及び確実な施錠とアラームや防犯カメラの設置等の対策強化を推奨している。

イ 2013年末までに薬物中毒者として登録された人数は、4,079名であり、実際にはさらに多く、また増加傾向にあると考えられている。また平均年齢は25歳で、これは低年齢化していくものと予想されている。

(2) 邦人被害事案

発生なし。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 4月上旬、Muttrah Souqにおいて、女性の財布をひったくったアジア国籍の者を逮捕。

イ 4月下旬、Wadi Kabirのインド人宅で、一時帰国に伴う留守中に9,000リアル相当の金の装飾品が盗難被害に遭う窃盗事件が発生。

ウ 5月中旬、午後7時30分から9時までの間に、Ghubraのアパートの3階及び5階の住居計5世帯が、いずれも留守中に玄関ドアをこじ開けられ、被害総額数千リアルに及ぶ窃盗事件が発生。

3. テロ・爆弾事件発生状況

発生なし。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

日本人に関する事件の発生はなし。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題
具体的な脅威情報には接していない。

以上